

令和7年度 淀川河川公園協議会 議事要旨

1. 開催概要

日時：令和7年7月17日（木）10:00～11:15

場所：中央流域センター

議事：1) 開会

2) 淀川河川公園協議会の発足について

3) 中流左岸域 枚方・三矢地区の整備について

4) その他

5) 閉会

2. 議事要旨

（1）淀川河川公園協議会の発足について

- 淀川河川公園協議会の概要について説明が行われた。
- 「淀川河川公園協議会規約（案）」、「淀川河川公園部会運営規定（案）」が承認された。
- 規約に基づき、会長には増田委員が、会長代理には今西委員が互選された。

（2）中流左岸域 枚方・三矢地区の整備について

- 中流左岸域 枚方・三矢地区の整備について説明が行われた。

【質疑応答等】

学識経験者：スケートボードパークの利用規約やマナーをまとめたリーフレット等は検討しているのか。

関係自治体：利用規約に関しては、オープンにあたって作成を進めていきたいと考えている。

学識経験者：スケートボードは激しい動きを伴うため、特に事故防止の取組が必要になると思っている。利用ルールを適切に守るための組織が、利用者を中心に設立されている事例もある。枚方市でも持続的な利用のため、利用者の声も組み入れながらルール等を作成できれば良いと思う。

学識経験者：淀川河川公園は国営公園であり、多数の行政区域に跨っていることが特徴である。効率的・効果的な維持管理に向けては、官民連携ではなく、官官の連携が重要だと思う。

関係自治体：スポーツ施設の整備に関する市民要望もあるため、今後、淀川河川事務所等と連携していければと思う。

事務局：（施設設置の適正や維持管理も見据えた運用ルール構築などを踏まえ）国営公園ではあるものの、関連自治体とも協働で整備・活用していただくことが重要だと考えている。

学識経験者：施設の更新や不要になった際に除却し、自然に還すための費用についても今後検討する必要があると感じているが、現時点で想定されていることはあるか。

事務局：今回の、枚方市の取組をモデルとして捉え、市町と連携した維持管理手法等について検討できればと考えている。

また昨年度、鳥飼上地区で開設したスケートボードゾーンについても利用規約や安全に向けた取組を摂津市と共に取り組めればと考えている。

学識経験者：公園の指定管理やPFI事業で集客施設の整備が実施されているが、撤退した場合の対応や費用等についても考慮すべきだと考える。

(3) その他

学識経験者：淀川河川公園は他市町の方も利用されることは念頭に置いて検討いただきたい。また、公園や緑地が少ない市町は淀川河川公園を市内の公園としてどう利用していくかという見方が必要になると思う。

学識経験者：淀川流域は外来種や河川改修工事等の影響で自然環境が劣化してきている。そのような状況の中で、御幸橋野草地区ではチガヤ群落の再生を行っており、このような河川の自然環境を再生・保全する良い事例を市町や利用者の方へ積極的に情報発信していただければと思う。

学識経験者：予算の少ない中で広大な面積の維持管理や利用活性化等の課題があると感じた。枚方市のスケートボードパークの整備は良い事例と考えており、これからの一つの方向性になると感じている。

協議会においては、淀川河川公園の維持管理事業者や淀川河川事務所からも課題等を情報提供いただき、議論できる場になればと思っている。

3. 会議の様子



以上